

## 『文化のズレ』（9月4日配信）

こんにちは！

長女は、この4月に小1になりました。保育園を卒園し、地域の小学校に通っています。最近の長女を見ていると、ろう者と聴者の文化の違いを感じるが多くなりました。その一例をお話ししますね。

先日、長女が帰宅した時に、「学校でプリント配られたでしょう。渡して」と言いました。すると長女は「プリントじゃなくて、“お手紙”だよ」と言うんです。私はよく分からず「“お手紙”って何？」と聞きました。

ろう者にとっての手話の“お手紙”は、切手を貼り、ポストに投函して送るもののことです。どうして“お手紙”なんていう言い方をするのか聞いてみると、長女は「先生が『今日は“お手紙”を配ります』って言うてるよ」と言うので、驚きました。というように違っていたんです。

そこで娘に改めて、「ママが“プリント”じゃなくて、『“お手紙”ちょうだい』ってやったらどう？」と聞いてみると、長女は少し考えてから「それは違う」と言っていました。なので、「でしょう？ろう者は、プリントとお手紙でその意味の通りに手話を使うけど、先生の言う“お手紙”と手話の“手紙”は意味が違うんだよ」と話すと長女も納得したようでした。

そんな文化の違いがありました。